



Associação Crianças de LUZ

CANOVA

だより68 August 2021

文・写真_鈴木真由美 編集_星久美子・真野由紀 発行_光の子どもの会
Praia do Estevão s/n, Canoa Quebrada, Aracati-CE-Brasil CEP:62800-000
連絡先: info@criancasdeluz.org

ブラジルと日本を行き来しながら生活してきた私。それも20年を過ぎました。昨年からの新型コロナウイルスの影響で、ブラジルに戻ることでない日々が続いております。そして、2021年8月現在、今年はブラジルに行くことはできないということで、オンラインでのやり取りを中心に活動を続けてきています。オンラインで簡単にやり取りできる時代。それは素晴らしいものではありますが、同時に、自分の時間をどのように使うべきかを問われるものとなりました。オンラインだからこそ、日本の夜中に会議や講演会などを行うこともあります。そんな日々が続くと、やはり心身ともに疲弊している自分に気付かされます。今、このときだからこそ、大切にすべきものは何なのかを見極める必要がある。そう感じている今日この頃です。

さて、2021年1月。私の元に一通の通知が届きました。

「『令和2年度 神奈川県児童福祉審議会優良文化財』として、『ブラジル 天使が舞い降りる村のカノア保育園』を推薦します。」

2020年8月に初めての著書が出版され、こうして優良図書に選んでいただけたことは本当に嬉しい限りです。しかも、届いたポスターには、「優良図書 ~子どもの心へ届けたい本」として、小学校高学年以上を対象とした本の中にも選ばれていました！子どもにとっても、読んでもらいたい本として推薦していただいたこと、本当に嬉しいです。そして、多くの人に、子どもに、本を手にとってもらえますことを願っています。

カノア保育園及び学童教室は、2021年も「リモート授業」を行っています。保護者に対する研修の実施、毎月の教材キットの配布など、今まで以上に皆様のお力が必要となっています。オンラインでのイベントも開催していますが、ぜひ、一人でも多くの方にご支援、ご協力いただけますよう、お願いいたします。

「光の子どもたちの会」の卒業生

翻訳: 鈴木真由美



Rosilene da Silva(ホジレーニ)

学校に行きたくないと思ったことは、一度もありませんでした。学校はたくさんの物で溢れており、そこには私の夢が詰まっていた。なぜならそれが、私をととても幸せな気持ちにさせてくれていたからです。

リサイクルペーパーに描かれたカラフルな絵。布の人形に、ブランコ。パソコンに見立てたものを受付に置いて、休み時間に遊んでいました。そこは、自分の想像力をつかって遊びを作り、花を咲かせていた場所。

「感謝」という言葉から始めたい

家庭とは正反対の場所でした。大人が抱えている不安と苦悩に溢れ、貧しい中で子どもを育てなければいけない、その雰囲気を感じてました。隣りの家に住む子どもと遊ぶことさえ許されていなかった私が、保育園や学校の中だけは、友だちと一緒にいることができたのです。

どこにでもいるひとりの子どもとして才能を伸ばし、先生からの愛情を受け、自分たちで自由に遊びを作り出すことができた、そんな場所。ある時は、私がみんなと一緒に活動に参加できるようにと、自宅にまで足を運んで母親を説得してくれた先生たち。エヴァ先生とマユミ先生は私の人生の中に安全地帯として存在していました。なぜなら、その場所こそ、私が自分として存在することが許されていた唯一の場所だったからです。

砂丘や森を探検し、自然と共に生きる大切さを学びました。そこで拾ってきた材料でおもちゃを作り、劇のシナリオを考え、「ダンサ・デ・ココ」を踊り……私の大好きなマユミ先生の日本人の友だちと一緒に遊んだ遊び。日本人ボランティアたちは日本祭を開催し、私たちを楽しませてくれました。まだ子どもだった私が受け取ったもの。たくさんの人たち、新しい場所、新しいお話に囲まれ育まれながら生まれた、私の人生の生きる目的。

この場所は、魔法のようなところ。真剣に向き合う気持ちと勇気を育て、地域と共に生きている場所。幼少期にこの場所で過ごすことができたことに感謝しています。なぜなら、ここから子どもたちの物語が始まり、チャンスをつかむことができるのだから。幼少期の夢を追いかけ、成長した私のように。だから文章の始まりは「感謝」という言葉から始めたいと思います。

保育園での学びと思い出

保育園の頃はたくさんの音楽と出会いました。私は写真に写ることを嫌がるほどの恥ずかしがり屋でした。それでも、保育園で遊ぶことが大好きでした。水彩画もやりました。子ども達だけでケーキやビスケットも作りました。もちろん作ったものはその後食べるのですが、自分たちで作ったもののなんと美味しかったこと！子どもながら、自分で作り、食べることができるということがとても誇らしかったです。クリスマス、春など、季節ごとの歌や物語。手を洗うときにさえ、歌を歌っていました。おもちゃを片付けるときには、お片付けの歌。今でも覚えています。イースターのときはお庭で卵を探しました。とっても楽しかった！母の日やクリスマスには、子どもたちが音楽や劇を発表しました。それはまるで魔法のような素敵な時間でした。エスターヴァン村の森や砂丘の探検や遠足。遠足の前日は興奮して眠れませんでした。

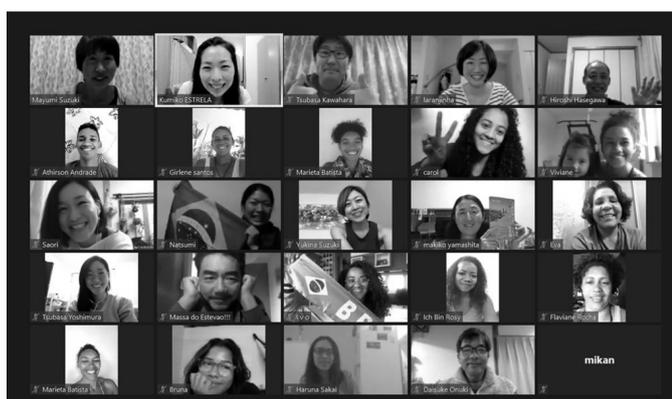
いろいろな行事の中でも私が好きだったのは、“São Nicolau（聖ニコラウ）”の日です。先生が物語を聞かせてくれている途中で突然、誰かが部屋のドアをたたくのです。私たちは「聖ニコラウが来た！」と信じていました。ドアを開けるときらきらと光るものが床に落ちていて、袋の中にはとてもおいしそうなお菓子が入っていました。まるで物語が現実になったようで、私は感動しました。私はファンタジーの世界に生きることができたのです。そして、責任を持つということもこの保育園で学びました。毎日当番があり、当番の子どもは部屋の整理や先生のお手伝いをします。そして頑張った子どもの元には星がやってくるのです。この星をもらった子どものことを「輝いている人」と、私たちは呼んでいました。

ボランティアとの出会いがくれたもの

その後ルシアーナ先生のいる小学校就学前教室に通いました。そこで私は初めて自分の名前を書けるようになりました。そして、小学校入学後には、マルシアーノ先生のいる学童教室へと進みました。このときに初めてのボランティアと出会いました。2006年のことです。川原翼さんという日本人です。今でもよく覚えています。彼は日本語で挨拶や数の数え方を教えてくれました。日本の音楽も教えてくれました。蛙の歌は今でも歌詞を思い出すことができます。また、折り紙やよさこいソーランの踊りも教えてくれました。私と姪っ子のカロリーニはとっても恥ずかしがりだったのですが、彼はおまじないの言葉をかけてくれ、私たちがみんなと一緒に踊れるようにしてくれました。よさこいソーランを村のみんなに披露したときは本当に楽しかったことを覚えています。

その後、たくさんのボランティアが村を訪れるようになりました。日本からだけでなく、他の国からも来るようになりました。私たちはお互いに、異なる文化や生活様式から学び合っていたのではないかと思います。今でもその学びは、思い出として、写真や記憶の中に残っています。そして先日、オンラインではありましたが、たくさんのボランティアたちと久しぶりに会うことができました。なんと素晴らしかったことか！みんな変わっていて、家族ができている人もいました。昔の思い出を語り合うことができたこと、本当に嬉しかったです。

私は今24歳となり、大学のホテル学科も卒業しました。ホテル業界はパンデミックの影響で難しい状況が続いており、私は失業中です。とにかく、どこかのレストランかホテルで働きたいと思っています。しかし私には夢があります。5年以内に夫と一緒に自分たちで事業を始めたいのです。どんな事業が良いのか、まだ分かりません。でも、夫がピザ職人なので、宅配のピザ屋さんかもしれません。宅配にすれば、自宅で働くことができるので、これから家族を築いていく私には合っているのではないかと思います。私は働きながら子どもと一緒にいることができ、子どもへの教育にもその方が良いのではないかと考えています。



2021年4月18日曜日 20:00 UTC+09~21:30 UTC+09
**あの今は今？ ～カノア保育園
20年の軌跡をたどる**
Online Event

ゆうちょ財団:学童教室実施から学ぶ、公立小学校におけるライフスキル授業実施事業

2013年から2018年までJICA草の根技術協力事業として、地域子育て支援ネットワーク創設と、ライフスキルトレーニングの実施を行いました。2019年に行った調査では、アラカチ市公立13校全てにおいて、月1回の定期的なライフスキル授業が実現されていました。しかし残念ながら、その授業内容や質には、学校格差が見受けられるようになってしまいました。2020年2月には、神奈川県秦野市教育委員会の方々と共に、現地を視察し、日本の学びをブラジルに活かす方法の一つとして、ライフスキルトレーニングをアラカチ市内の全校に対して実施できないかと思案中です。

ゆうちょ財団による今回の事業は特別措置として延期され、2021年12月31日まで実施されることとなりましたが、すべての活動をオンラインにて実施することとなり、現地に足を運び、直接指導することができなくなりました。アラカチ市内の小中学校も未だリモート授業を続けていることもあり、学校の教員自身も、授業を動画に頼らざるを得ず、児童・生徒と直接関わることができないための葛藤があるといえます。オンラインの中で、どのようにして子どもたち主体の授業を作ることができるのか？教員たちの学び愛を保障することができるのか？新たな課題にぶつかりながら、最後まで取り組んでいきたいと思えます。

卒園生3人の自殺。彼らが私たちに残してくれたもの

2021年1月。私の元に連絡が入りました。それは、カノア保育園の第1期卒園生でもある、アイルトンが自殺したとのニュースでした。彼はアルコール中毒症であり、以前から、お酒はほどほどに…と、周囲の人達から声をかけられていました。

彼が大好きだった、エステーヴァン村の伝統文化の一つでもある、「Dança de Coco (ダンサ・デ・ココ)」。グループが作られた時からずっと、活動に参加し、時にはお酒を飲みすぎて叱られ、イベントに出演するために断酒をし…いつも鮮やかなステップを私たちにを見せてくれていました。2020年。新型コロナウイルスの影響で、自粛が求められ、日に日にお酒の量が増えていってしまったのかもしれない。母親からは「やっとお酒の量が減ってきたのよ」という話を聞いていた矢先、今度は麻薬に手を出すようになっていました。自殺したこの日、彼は少しの麻薬を使い、朝方まで飲んでいて、友達と別れたその足で自ら死を選びました。お酒を一緒に飲んでいた仲間たちも、「死ぬなんて、そんな気配全くなかったんだ。いつもと同じように楽しく飲んでいたのに…」と、悔しさを口にしていました。

その2か月後、アイルトンの甥っ子であるカイオが17歳という若さで命を絶ちました。私の長女は彼と同じ年齢で、カノア保育園と一緒に通い、ときには彼からの愚痴を聞いていたといえます。家庭環境が複雑で、実母が子育てをしなかったことで、生まれてすぐに叔母と祖母に育てられることになったカイオ。思い通りにいかないと家を飛び出し、警察に捕まったこともあります。麻薬に手を染め、一時期はそのせいで誰も口を利かないような生活を送っていた彼でしたが、数年前にはカノア保育園の掃除やペンキ塗りを手伝いに足を運んでくれるようになりました。何度も自殺未遂をしていたカイオ。「なぜ今回は止めてあげられなかったのだろう」叔母は苦しみ、祖母は生きる気力を失ってしまっています。

2021年4月。ラザロが命を絶ちました。エステーヴァン村の中でも貧しい家庭に生まれ、15人兄弟の彼は、家に帰りたくない、いつもサッカーコートの際に座っていました。勉強が苦手で、学校に行くことを拒み、それでも「今年は頑張るよ！」と、毎年我が家の前を通過して挨拶をしていたラザロ。学校で問題児扱いされ、先生を信じられなくなったと我が家に来たラザロ。私たちは学校と一緒にいき、校長先生と話をしたあの日、彼は「今でも学童教室にいた日を思い出して、大人にも信じられる人がいるって思い出すんだ」と、語ってくれました。なにかあるとふと、我が家に立ち寄っていたラザロ。コロナ禍における人との接触を避けるこの自粛が、足を遠ざけてしまったのではないかと考えずにはられません。

カノア保育園が作られて20年が経ち、卒園生は子どもを持つ年齢になりました。中には、子どもが今カノア保育園に通っている…という人もいます。ときの流れの中で、私たちに必要とされていることは何なのだろうか？改めて考えさせられています。



国内活動＊Atividade no Japão

●8月28日オンラインツアーを開催します！

ブラジル北東部の小さな漁村、エステーヴァン村。
この村のあるカノア・ケブラーダ地区は名高い観光地としてブラジル国内だけでなく、ヨーロッパを中心とした海外からの観光客も訪れる、有名な街です。そんなカノア・ケブラーダ地区にあるエステーヴァン村。その中にある、私たちのカノア保育園。現地の教職員が総力を挙げて撮影した、地元愛満載の配信です。

「天使が舞い降りる村」といわれた、真っ白な海岸に青い海と空。その海岸をお散歩しながら、潮風を感じていただきたいと思います。

そして、砂丘からは奥に広がる森を眺めながら、地平線に沈む夕日を体験していただきます。砂丘では、夕日が沈むまでの間、“シキブンダ”と地元では呼ばれる、海や雪の上じゃなくて砂丘で楽しむサンドボードを体験していただくことができます。

日本からブラジル。地球の裏側までは時間もお金もかかる！ だからこそ、まずはオンラインでご自宅やネット環境のある場所から参加してみませんか？

案内人は、鈴木真由美が務めさせていただきます。

一人でも多くの方に参加していただきたいと思っています。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください！

<https://criancasdeluz.stores.jp/>

申し込みは
こちらから！



8月28日(土) 20:00～(40分間)

参加費は選べる **4種類！**

※お支払いが確認でき次第、ZOOMのURLをお送りします。

- ① ¥1000 参加費のみ
- ② ¥1500 参加費 + 寄付
- ③ ¥1500 参加費 + キーホルダー
- ④ ¥2500 参加費 + 鈴木真由美の著書(特別価格)

※今回は第1弾として開催します。こんな場所に行ってみたいなどのご希望がありましたら、ぜひお寄せください。

※参加費はすべて、カノア保育園の活動費(教員への給与及び子どもたちへの教材キット作成費)として使用させていただきます。

28

2021年8月28日 20:00 - 20:45 GMT+9

【8月28日開催！！】ブラジル北東部、大自然の中を満喫しよう！！ ～エステーヴァン村を散...

オンラインイベント

●カノア・オリジナルカレンダー用の写真13枚の採用が決定！

2022年卓上カレンダーの写真投票の結果、13枚の写真に決まりました！完成後は「光の子どもたちの会」のSTORESで購入できます。お楽しみに♡



子育て日記より

我が家の娘たちも高校2年生と中学2年生となりました。最近では、以前にも増して姉妹喧嘩が激しくなってきました。二人とも思春期真只中。お互いに譲れないところも多々あるようで、怒鳴り合いになることも。姉妹であっても他人。それぞれ個性があって当たり前の精神で過ごしているようです。お互いの違いを認め合い、社会に出てからも、こうしたやり取りが少しでも役に立ってくれるように願うばかりです。が、母親としては、「ここまで言うかな」と思うこともしばしば。それぞれが自分の道を、自分の力で歩んでいるところ。嬉しくもあり、寂しくもあり。そんな気持ちの中、過ごしている今日この頃です。

活動計算書

2020年 1月 1日 ~ 2020年 12月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	172,000	172,000	
2. 受取寄付金	1,147,029		
受取寄付金	12,000		
学資支援金	32,289		
修繕支援金	0		
サッカー支援金	0		
音楽支援金	0		
3. 受取助成金等	500,000	1,191,318	
ゆうちょ財団	605,000		
森村豊明会助成金	300,000		
日蓮宗あんのん基金		1,405,000	
4. 事業収益	96,840		
物品販売			
5. その他収益			
受取利息	0		0
経常収益計			2,768,318
II 経常費用			
1. 事業費	940,829		
(1) 人件費	940,829		
給料手当			
人件費計	940,829		
(2) その他経費	36,541		
保育園事業	0		
音楽支援事業	39,323		
施設維持費	31,960		
学資支援費	1,040,587		
LUSHジャパン	263,764		
ゆうちょ財団	367,000		
日蓮宗あんのん基金	269,000		
森村豊明会助成金	2,048,175		
その他経費計		2,989,004	
2. 管理費			
(1) 人件費	0		
人件費計	6,457		
(2) その他経費	6,457		
雑費			
その他経費計		6,457	
管理費用計		6,457	
経常費用計			2,995,461
当期正味財産増減額			△227,143
前期繰越正味財産額			1,527,007
次期繰越正味財産額			1,299,864

活動予算書

2020年1月1日から2020年12月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 光の子どもの会

(単位:円)

科 目	金額	金額	
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	300000	300000	
2. 受取寄付金	2300000	2300000	
3. 受取助成金等	500000	500000	
ゆうちょ財団			
事業収益	100000	100000	
国際協力事業(物品販売)			
5. その他収益	10	10	
受取利息			
経常収益計			3200010
II 経常費用			
1. 事業費	1530000		
(1) 人件費	1530000		
給料手当			
人件費計	1530000		
(2) その他経費	30000		
教育支援事業	30000		
保育園及び学童教室食材費	30000		
保育園及び学童教室教材費	30000		
保育園及び学童教室施設維持費	120000		
教育事業(ゆうちょ財団)	924236		
子育て支援事業(日蓮宗あんのん基金)	449000		
教育事業(森村豊明会助成金)	1216000		
国際協力に関連する教育分野の普及啓発事業			
原稿・講師謝礼	30000		
会場費	5000		
雑費	5000		
国際交流事業(事業報告会等の実施)	5000		
会場費	5000		
雑費	5000		
国際協力事業(物品販売)	5000		
会場費	5000		
雑費	5000		
支援寄付金	100000		
その他経費計	2869236		
2. 管理費			
(1) 人件費	0		
人件費計	100000		
(2) その他経費	100000		
雑費			
その他経費計		100000	
管理費用計		100000	
経常費用計			4499236
当期正味財産増減額			△1299226
前期繰越正味財産額			1299864
次期繰越正味財産額			638

ありがとうございます＊Obrigado

2020年12月8日～2021年6月28日現在までに会費及び寄付を頂きました皆さま及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響で未だ保育園及び学童教室のリモート授業が続く中、現地では保護者に対する研修、個別相談や動画の配信など、「#今できること」に取り組んできました。今までとは異なる形での支援が必要となっています。引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

目標会員100名！！！！

会費及び寄付を頂きました皆様(順不同)

石田泰三 さま、石田まどか さま、市川由美子 さま、井上アメリカ さま、大庭富美香 さま、影島清恵 さま、加藤恵美子 さま、定森徹 さま、高山悠子 さま、馬場悠男 さま、藤崎杏里 さま、堀池眞輔 さま、堀池ミツ子 さま、堀坂浩太郎 さま、ミヤザワノリオ さま、ミヤタジロウ さま、宮原伊三郎 さま、村上誠 さま、レインボーリーブス さま



「光の子どもたちの会」の活動は
皆さまの会費とご寄付で
成り立っております。

村で唯一の保育園であり、
保護者からは月謝をとらない代わりに
保育園での消耗品(石鹸や文具、食材など)を
持ってこられる範囲でお願いしています。

会員になって、活動を
サポートして下さいますか？
目指せ会員100人！

会費・ご寄付の
振込が
STORESから
できるように
なりました！

<https://criancasdeluz.stores.jp/>

くわしくは
こちら！



年会費(5,000円)・ご寄付のお振込み方法

1. 自動引き落とし

お持ちの口座の金融機関で手続きができます。引き落とし日、金額をご指定いただけます。尚、ゆうちょ銀行からお振込の場合は以下の【2. 郵便振替】と同じ口座番号ですが、他金機関からの振込の場合には、【3. ゆうちょ銀行振込】の口座番号となりますのでご確認ください。

2. 郵便振替

口座番号 00280-1-41787

加入者 光の子どもたち・カノアの活動を支える会

3. ゆうちょ銀行振込

名義 光の子どもたちの会 店名 ○ニハ(ゼロミハチ)

店番号 928 普通 口座番号 5552598



<http://criancasdeluz.org/inicial/index.jp.html>

問い合わせ先:代表 鈴木真由美 日本事務局長 堀池眞輔
〒221-0841 神奈川県横浜市神奈川区松本町1-7-1
☎045-321-1824 info@criancasdeluz.org